

奈良教育大学同窓会会報

まほろば

第32号



目次

- 会長挨拶 ..... 2
- 学長挨拶 ..... 3
- 平成30年度会務報告 ..... 4
- 平成30年度会計報告 ..... 5
- 令和元年度総会・懇親会  
令和元年度活動方針・役員紹介 ..... 6
- 令和元年度支会長・評議員紹介
- 令和元年度 理事による活動委員会  
まほろば 徳・得講座案内 ..... 7
- 支会だより ..... 8
- 同窓会だより  
一日親睦研修会の案内 ..... 9・10
- 研修会だより  
先輩から後輩へ・後輩から先輩へ ..... 11
- 学生会員の声・キャンパスだより  
事務局だより・編集後記 ..... 12

「薬師寺を望む」竹原 邦樹 (S52卒)

家並、木々、田畑、季節を映すため池の水面。西の京の美しさは昔と全く変わらない。

若い頃、絵にする場所を探してずいぶん歩き回った。その時見つけたポイントが、今も使えることには驚かされた。

薬師寺を望む風景には、あらゆる季節の美しさが詰まっている。

この作品は、秋篠川の土手からの眺めである。薬師寺の南、七条東町あたりの穏やかな空気感をキャンパスに閉じ込めた。

彩りは、川べりの菜の花。そしてお気に入りの柿の木の緑を添えて。東塔と朱の金堂が、春色との対比で美しい。暖かな、満たされた心地を感じていただければ幸いである。

## 同窓会創設130周年記念事業の実現に向けて



### 会長 森 康 雄

奈良教育大学同窓会  
会員の皆様におかれま  
しては、ご健勝のこと  
と拝察しお慶び申し上  
げます。平素は、同窓  
会の活動にご理解とご  
協力を賜り有難く厚くお礼申し上げます。「令和」元年がスタートした去る5月19日(日)奈良ホテルで開催した同窓会総会には、加藤学長を始め顧問の長田、中谷前会長のご出席のもと、55名の会員諸氏のご参加をいただき盛大に開催することができ感謝申し上げます。

奈良教育大学同窓会は、来年度創設130周年を迎えます。奈良教育大学が長年育んできた歴史と伝統に寄り添い、同窓会活動を推進してきた先輩諸氏の努力を受け継ぎ現在に至っています。しかし近年、国立大学の法人化によって大学運営や内実において改革しなければならない方向が現実となってきています。「大学の運営方針に添って協力」する同窓会においてもそのあり方について議論を重ねて参りました。

まず、「一般社団法人奈良教育大学同窓会<sup>なぎ</sup>竹柏会」への名称変更を総会において提案したところ、満場一致の賛同をいただきました。法人格を有することは世間からの信用が増すと同時に、各方面からの協力が得やすくなり、税制優遇措置も可能となります。春日大社の竹柏樹林は、国の天然記念物とされ、神が宿る木として大切にされてきました。竹柏は風に通ずることから穏やかな人生航路を願い、裏表の美しいその葉は正直な人格形成への願いが込められています。教育者を育成する大学に相応しい名称であると考えます。

次に、大学入学と同時に同窓会員となる学生会員制度を導入して3年目を迎えます。学生会員に直接働きかける事業として「まほろば徳・得講座」も3年目を迎えました。本学卒業の先輩が豊かな教育実践を基に興味深く

語りかける講座は、大学の講座と一味違い大学当局にも好評です。本年度は受講修了証をお渡しする予定です。

また、本年3月10日(日)実施した大学創立130周年を迎えた記念事業として同窓会が主催した「記念植樹祭」には、奈良県選出の国会議員を始め、各方面の名士がお祝いに駆け付けてくださいました。キャンパス整備の一環としてナラノヤエザクラを始め13本の苗木を大学に寄贈しました。ナラノヤエザクラは国の天然記念物に指定されていますが、成木は現在県内に数本しか存在していないと言われています。そこで、奈良県と東大寺の協力を得て、県の森林技術センターで組織培養された苗木を現在、奈良教育大学内で育成しています。

続いて、学生の自主活動を支える一環としてクラブハウスの改築が大きな課題となっています。部活動の基盤となるクラブハウスから生まれる様々な能力を想像したときに、その環境が大きく影響を与えるものであることは申すまでもありません。多彩な能力を十二分に発揮し、奈良教育大学で学ぶ誇りと喜びにつなげるためにも、出来得限りの環境を整備したいと考えています。このことについては早急に実行委員会を組織し、大学当局と綿密な話し合いを重ね、連携を深めながら進めて参りますが、同窓会員の皆様はもとより、各方面でご活躍の皆様にもご支援をお願いしなければなりません。

最後になりますが、同窓会研修部では、本年も研修計画に従い参加者を募集しています。会報「まほろば」をご参照ください。

「着眼大局、着手綿密」を大切にしながら、事業の推進に努力している奈良教育大学同窓会活動の意義を十分ご理解いただき、ご協力くださいますよう本年度もよろしくお願い申し上げます。

## ナラノヤエザクラへの思い



### 学長 加藤 久雄

同窓会の皆さまには、本学の教育活動や研究活動に対しまして様々なご支援をいただいておりますこと、お礼申しあげます。

既に、大学HPにてご報告させていただいておりますが、本部棟の南側や正門を入ったあたりに、新たに植樹がなされておりますことにお気づきのことかと思えます。本学は、昨年、平成30年が創立130周年にあたります。このたび、同窓会より、創立130周年を迎えたことを記念して、桜など13本の木々を寄贈いただきました。ナラノヤエザクラ2本、枝垂れ桜3本、八重桜6本、橘2本の計13本です。さる、3月10日、高市早苗衆議院議員、中野雅史奈良県議会議員もおいでくださり、同窓会主催にて植樹式が行われました。改めて、お礼申しあげます。

13本のうち、特にナラノヤエザクラは、奈良に咲く八重の桜の総称ではなく、*Prunus verecunda Antiqua*の学名をもつ、桜の品種のひとつです。「詞花集」の伊勢大輔の「いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重にほひぬるかな」の歌で知られるナラノヤエザクラです。また、ご存じのとおり本学とは深い縁のあるナラノヤエザクラですが、今回、同窓会のご尽力により奈良県森林技術センター森林資源課よりナラノヤエザクラの芽を寄贈していただき、本学の箕作和彦准教授がバイオテクノロジーにより芽から培養および育苗されたものです。「まほろば」第31号(平成30年6月)に『「ナラノヤエザクラ」プロジェクト』として紹介されていますが、同窓会と大学が協働したシンボルとして、大変嬉しく思っております。植樹式では、森康雄同窓会長に同窓会への感謝状をお贈りさせていただきました。100周年の時には、桜の木を2本寄贈いただきましたが、残念なこと

に、1本しか残っていません。このたびの桜を含め、大切にしていきたいと思えます。3月の卒業式、修了式の学長告辞では、このことをご紹介しますとともに、桜にちなんで次のような話をさせていただきました。

サクラを染め物につかひ美しい淡いピンクに染め上げる「サクラ染め」というのがありますが、それは、決してサクラの花びらを使って染められたものではないそうです。あの見事なサクラの花を集めて染料として使えば、布が染まるかというところではないそうです。ピンクの色など、どこにも見つけることのできないサクラの小枝や幹の皮を煮詰めて染料とすることによって、はじめて布がピンクに染まるのだそうです。あの満開の美しいサクラの花、その花の色を作り出し支えているのは、小枝であり幹の部分なのであります。4月になって、満開のサクラを見ることがあるかと思えますが、その時は小枝や幹も満開のサクラの花と同じように見てみてください。そして、愛でてください。さらには、足の下には桜の木を支える根があることも思い描いてください。「教育の大学」を母校とする皆さんは、学ぶということ、教えるということ、そして物事の表面だけではなく、そのウラ側や背景もしっかり捉えて、前に進むということを何よりも大切に奈良教育大学を母校とすることに誇りをもって歩いて行ってください。

この『「ナラノヤエザクラ」プロジェクト』のように同窓会と大学が連携して、キャンパスの環境を整えたり、シンボルを育んだり、「まほろば徳・得講座」のような教育実践力につながる学びの機会を設けたり、同窓会と本学のますます発展につなげていきたいと考えています。

## 平成30年度 会務報告

- |       |  |            |   |
|-------|--|------------|---|
| 4月3日  | 大学入学式<br>会長・副会長参列<br>入学生 336名                | 10月14日     | 第6回本部役員会  |
| 4月6日  | 会計監査を受ける                                     | 10月20日     | 第4回まほろば徳・得講座  |
| 4月11日 | 第1回研修委員会                                     | 10月27日     | 理事・評議員会 34名<br>支会長会 12名<br>東大阪支会  |
| 4月13日 | 役員選考委員会<br>第1回本部役員会                          | 11月11日     | 大阪市興東会退職校長会   |
| 4月28日 | 理事・評議員会 42名出席<br>総会に提案する議案を討議検討              | 11月17日     | 公開文化講座 41名<br>県立万葉博物館長 稲村和子氏  |
| 4月21日 | 大阪市興東会                                       | 11月23日～25日 | 大学祭「輝菫祭」  |
| 5月10日 | 第2回本部役員・支会長会                                 | 11月28日     | 参与会 12名   |
| 5月12日 | 第1回まほろば徳・得講座                                 | 11月29日     | 大阪市教職員奈良教育大同窓会  |
| 5月20日 | 平成30年度総会 75名<br>総会後のアトラクション<br>・混声合唱 楽桜混声合唱団 | 12月1日      | 第5回まほろば徳・得講座  |
| 5月23日 | 第1回広報委員会<br>会報「まほろば」編集委員会                    | 12月2日      | 磯城支会  |
| 5月30日 | 第2回広報委員会                                     | 12月5日      | 第7回本部役員会  |
| 6月6日  | 第3回本部役員会                                     | 12月8日      | 奈良支会  |
| 6月8日  | 第3回広報委員会                                     | 12月22日     | 第3回教育の集い 日航奈良ホテル<br>出席者 60名   |
| 6月16日 | 第2回まほろば徳・得講座                                 | 1月5日       | 大阪市興東会新春総会  |
| 6月24日 | 五條支会 山辺支会                                    | 1月9日       | 第8回本部役員会  |
| 6月30日 | まほろば第31号発行<br>郡山支会                           | 1月21日      | 卒業生入会手続き  |
| 7月11日 | 第4回本部役員会                                     | 1月23日      | キャンパス美化委員会  |
| 7月14日 | 第3回まほろば徳・得講座                                 | 2月6日       | 第9回本部役員会<br>顧問・名誉理事合同   |
| 7月28日 | 生駒市支会  | 2月8日       | キャンパス美化委員会  |
| 8月5日  | 京都支会   | 3月6日       | 第10回本部役員会   |
| 8月8日  | 第2回研修委員会                                     | 3月10日      | 同窓会主催<br>奈良教育大学創立130周年記念<br>植樹祭 於：山田ホール 66名   |
| 8月25日 | 第1回総務・組織委員会                                  | 3月25日      | 大学卒業式<br>卒業生 305名<br>学部 248名 大学院 57名<br>同窓会入会者 45名 (H29 64名)<br>会費納入者 56名 (H29 67名) |
| 9月12日 | 第5回本部役員会                                     |            |   |
| 9月28日 | 中間卒業式 6名 入会 2名                               |            |   |

### 2020年度 同窓会総会のご案内

■と き 令和2年5月17(日)

午前10時から

■ところ 奈良ホテル



出席希望者は  
令和2年4月末  
までに、事務局  
へ (FAXか電話で)  
お申し込み  
ください。

### 会員から書籍が 寄贈されました

2018年1月1日「コトニスム・カタルシカ」  
今野 博信 (S58卒)：一声社

2019年2月16日「人生もトラックも快走」  
北 良生 (S30卒)：新踏社

2019年4月16日  
「百歳を目標に自分流に生きる 一生涯、現役」  
宮前 清和 (S20卒)：大日本印刷

**平成30年度 奈良教育大学同窓会一般会計決算書** (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(歳入の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度収入額 (B)	比較増減額 (B-A)	備考
会費		5,540,000	4,818,790	△ 721,210	
	1 通常会費	2,640,000	2,207,120	△ 432,880	会員 1158名
	卒業時	200,000	111,870	△ 88,130	学生・院生卒業生 56名
	入学時	1,680,000	1,825,800	145,800	学生・院生 239名
	2 入会金	200,000	90,000	△ 110,000	学生・院生 45名
	入学時	420,000	478,000	58,000	学生・院生 239名
	3 臨時会費	400,000	106,000	△ 294,000	総会出席者 52名
繰越金	前年度繰越金	266,058	266,058	0	繰越金
利子	利子及び雑収入	0	347,908	347,908	貯金利子、寄贈、広告代金、事業基金繰入
合計		5,806,058	5,432,756	△ 373,302	

(歳出の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度支出額 (B)	比較増減額 (A-B)	備考
事務費		2,526,800	2,529,390	△ 2,590	
	1 報酬	1,276,800	1,121,200	155,600	報酬
	2 諸手当	270,000	198,640	71,360	交通費、諸手当
	3 役員旅費	400,000	626,680	△ 226,680	役員旅費等
	4 備品費	100,000	152,155	△ 52,155	事務備品等
	5 消耗品費	100,000	68,642	31,358	印刷用紙他
	6 通信費	130,000	125,668	4,332	切手・はがき・電話料金等
	7 貸借料	250,000	236,405	13,595	複合機リース代・コピー代
会議費		380,000	236,510	143,490	
	1 役員会費	80,000	46,148	33,852	役員会、理事会、評議員会等
	2 総会費	300,000	190,362	109,638	総会、懇親会等
事業費		2,872,000	2,445,665	426,335	
	1 会報発行費	2,340,000	2,074,937	265,063	会報「まほろば」31号
	2 新会員歓迎費	150,000	67,582	82,418	入会歓迎会費・卒業記念(筒)等
	3 事業活動費①	55,000	57,562	△ 2,562	公開文化講座
	〃 ②	152,000	130,240	21,760	徳・得講座
	4 組織活動費	125,000	93,826	31,174	支部活性化対策費
	5 事業補助	50,000	21,518	28,482	活動補助
	6 事業基金	0	0	0	事業基金として積み立て
予備費	予備費	27,258	30,324	△ 3,066	
合計		5,806,058	5,241,889	564,169	

差引現在高 5,432,756 - 5,241,889 = 190,867円

会計現在高 (平成31年3月31日)

以上の通り報告します。平成31年4月1日

1. 事業基金

南都銀行 (定期)	564,505円
ゆうちょ (定額)	308,000円
ゆうちょ (普通)	390,143円
南都銀行 (普通)	500,018円

2. 奈良教育大学同窓会

ゆうちょ (普通)	2,549,330円
合計	4,311,996円

会計 小林邦子   
 会計 森幸玉 

監査報告

平成30年度の会計決算を詳細に監査いたしましたところ、諸帳簿等はいくも整備され、正確適正に処理されていたことを認めます。

平成31年4月5日

同窓会130周年記念事業桜植樹関係収入

ゆうちょ定額預金の解約	2,296,555円
支出	
植樹代	1,485,367円
祝賀会等	266,592円
陶板代	300,000円
合計	2,051,959円

会計監査 野阪雅美 

会計監査 倉本政太郎 

解約収支 - 支出 = 差額244,596については、歳入の部利子及び雑収入に繰り入れました。

### 令和元年度 奈良教育大学同窓会総会・懇親会の風景

奈良ホテルで開催した本年度の総会は、好天に恵まれ来賓各位を始め55名の会員の皆様のご出席をいただき盛大に開催することができました。

慎重な議案審議のあと、懇親会では老若を問わず親しく会話のできる雰囲気の中で、新年度への意気込みを語ることができました。



会長挨拶 (森康雄氏)



学長挨拶 (加藤久雄氏)



議長選出 (北良夫氏)



議案審議



議案審議



議案審議



懇親会乾杯 (長田光男氏)



和やかな懇談



### 令和元年度 活動方針

国立大学法人奈良教育大学の同窓会は、会員相互の親睦を図り教育ならびに社会の進展に寄与することを目的とする。また、大学の運営方針に添って協力し、更なる発展をめざす。

- 理念
- 会員相互のふれあいを大切にし、親睦を深める。
  - 学び合い、語り合う場を設定し、互いに教養を高める。

基本方針 同窓会活動の充実発展を骨子とし、参加勧誘を働きかけ、会の運営・維持に努力することを基本とする。

- 重点目標
1. 同窓会員として豊かな人格をめざし、会の運営・充実のため年会費の増額・増収に努める。
  2. 各事業委員会活動の強化と、支会活動の活性化をめざす。
  3. 学生会員に向けての活動を拡充する。
  4. 同窓会創設130周年事業成功に向け、大学の発展と同窓会としての目標達成に、支援し協力し合う。(同窓会創設130周年 — 2020年)

### 令和元年度 奈良教育大学同窓会役員紹介(敬称略)

理事	会長	森 康雄 (S28)	顧問	柳澤保徳(元学長)・長友恒人(前学長)
	副会長	中川克己 (S28)・吉田貴子 (S35)・橋本 清 (S35) 松原さおり (S39)・向出恵宥 (S39)・久保三左男 (S41)		加藤久雄(学 長)・長田光男(元会長) 西田史郎(元会長)・中谷 要(前会長)
	会計	小林邦子 (S47)・森本玉枝 (S48)	名誉理事	井上三夫 (S23)・山根 奨 (S24)・松村恵司 (S28) 北 良夫 (S30)
	監事	野阪雅美 (S35)・倉本政太郎 (S38)	参与	宮前清和 (S20)・大倉基宥 (S23)・森杉美代子 (S24) 本田克己 (S32)・福井義博 (S33)・竹中良行 (S33) 宮本博颯 (S34)・今西政弘 (S35)・宿本 啓 (S35) 服部 明 (S37)・中尾勝一 (S37)・藤井フミ子 (S38) 松本守正 (S38)・境山正甫 (S39)・木村隆吉 (S40) 後藤田和子 (S41)・井本英典 (S41)・浦野 和 (S42) 門田悦子 (S41)・岡島久子 (S43)・赤堀剛彦 (S43) 大橋 勉 (S43)・深井一憲 (S43)・石増次郎 (S44) 岸田泰三 (S45)・中室清文 (S45)・平井利子 (S45) 中村幸成 (S47)・澤田晴夫 (S48)・恒岡宗司 (S49) 大橋輝雄 (S51)
	特命理事	吉田 誠 (S50)		
特任理事	中村利典 (S37)・楠 隆彦 (S44)・近藤義之 (S50) 四野宮康子 (S50)			
理事	岩橋恭子 (S41)・小谷勝彦 (S42)・井村崇暢 (S44) 武村恵美 (S47)・金治延幸 (S47)・向出佳司 (S48) 山田 昇 (S50)・中村倫子 (S52)・滝川満夫 (S54) 銭本三千宏 (S55)・中澤新治 (S55)・豊田弘司 (S56) 松田孝史 (S61)・深田展巧 (S58)・西岡由郎 (S58) 林田晃典 (S63)・山崎淳美 (H1)			

支会長・評議員(敬称略)

奈良支会	支会長	川本和世(S57)
	評議員	西田美智子(S41)・阪東俊行(S51) 井上令子(S58)・小倉康裕(S59)
天理支会	支会長	東内 弘(S37)
	評議員	阪部 保(S48)・喜多健一(S52)
郡山支会	支会長	中谷 要(S27)
	評議員	三村精一(S37)・巽斗慎司(S60)
山辺支会	支会長	上浦一道(S38)
	評議員	今本泰啓(S39)
生駒市支会	支会長	松村恵司(S28)
	評議員	出原威佐夫(S44)・上西 均(S55)
生駒郡支会	支会長	宮前清和(S20)
	評議員	岡田泰治(S37)・稲浦 聡(S59)
桜井支会	支会長	向出恵宥(S39)
	評議員	脇田正美(S56)・北川雅尚(S62)
磯城郡支会	支会長	堀内義雄(S29)
	評議員	松村宙亨(S43)・上村謙至(S60)
宇陀支会	支会長	田中三彦(S53) (評議員兼任)
	評議員	城井 賦(S30)・向井 清(S51)
橿原支会	支会長	山本秀樹(S42)
	評議員	原田須賀子(S42)・中島浩一(S62)
高市支会	支会長	
高田支会	支会長	辰巳恵子(S37) (評議員兼任)
	評議員	平上昭彦(S58)

北葛城支会	支会長	増田辰夫(S50) (評議員兼任)
	評議員	森岡義博(S50)
香芝支会	支会長	竹林貞裕(S48) (評議員兼任)
	評議員	萩原雄一(S49)
葛城支会	評議員	宅 康次(S46)
御所支会	支会長	野阪雅美(S35) (評議員兼任)
五條支会	支会長	梶本和雄(S41) (評議員兼任)
	評議員	尾崎和弘(S62)
内吉野支会	支会長	久保 隆(S37) (評議員兼任)
吉野支会	支会長	小原康子(S43) (評議員兼任)
	評議員	森篤敏彦(S52)
高校支会	支会長	井上恵充(S60) (評議員兼任)
大学支会	支会長	石澤竜義(S62)
	評議員	豊田弘司(S56) 金原正明(S54)
大阪支会	支会長	枝元 哲(S58)
	評議員	船留昌代(S57)・石川昌司(S55)
東大阪支会	支会長	田畑真人(S56)
	評議員	松川登志子(S35)・植田 勝(S57)
八尾支会	支会長	浦上弘明(S51)
	評議員	加藤賢一(S61)
京都支会	支会長	久保三左男(S41)
	評議員	井戸野仁司(S45)・濱 喜代巳(S56)
三重支会 (名張)	支会長	渕矢俊成(S36) (評議員兼任)
	評議員	布村 進(S40)

令和元年度 理事による活動委員会

- ◎総務・組織委員会 (委員長 向出恵宥副会長) 本部活動の財務を担い、各種事業を総括する。徳・得講座の企画運営を含め本部活動・支会活動の活性化を図る。
- ◎広報委員会 (委員長 中村利典特任理事) 会報「まほろば」の編集・発行を行う。
- ◎研修委員会 (委員長 楠 隆彦特任理事) 公開文化講座、一日親睦研修会などの企画運営を行う。
- ◎キャンパス美化委員会 (委員長 松原さおり副会長) 大学内の環境や美化に協力する。
- ◎情報処理委員会 (委員長 近藤義之特任理事) 情報処理に係る用務を分掌する。
- ◎学生委員会 (委員長 吉田 誠特命理事) 学生会員の声をまとめ、活動に反映させる。
- ◎庶務委員会 (委員長 久保三左男副会長) 庶務全般を分掌する。会員名簿の管理をする。

2019年度  
教員をめざす特設講座  
【主催: 同窓会本部】

まほろば 徳・得講座

- ☆本学卒業生の大先輩が豊かな教育実践に基づき様々な実践事例を楽しく語ります。
- ☆今日的な教育課題を興味深く学んでいただけます。
- ☆教員をめざす皆さんにとって、必須不可欠な内容です。
- ☆大学の授業とは一味ちがう、またとない時間空間です。



～特集「授業づくりを考える」～

第1講 5月15日(水)

一つの学校、一つの教育目標で

子どもと先生と保護者が輝く学校づくり

講師: 人権擁護委員・保護司 大橋 勉先生

第2講 6月12日(水)

これからの道徳授業づくり

～具体的な実践事例～

講師: 大阪市立市岡小学校教諭 豊田 邦子先生・近藤 里香先生

第3講 7月3日(水)

※毎講: 13:30～15:30  
※会場: 山田ホール 等

「勉強って面白い!」と言わせたい

～小・中・高校を往復した50年の授業から～

講師: 「理科のスーパーティーチャー」竹中 良行先生

第4講 11月13日(水)

※毎講: 13:30～15:30  
※会場: 山田ホール 等

社会的な見方・考え方を鍛える社会科学習のあり方

～主体的・対話的で深い学びの実現にむけて～

講師: 香芝市教育委員会学校教育課長 廣見 敦志先生

## 支会だより

### 奈良支会の会長を任されて

前奈良支会 奥村 浩一 (S56)

私は平成30年度奈良教育大学同窓会奈良支会の会長を1年間させていただきました。奈良支会では、毎年会長を奈良市立の中学校長から、副会長を同小学校長から選出して運営を行っています。運営と言っても、奈良市立小中学校の現職教員の同窓生名簿を作成することと、年1回の総会を開催することでした。

会長として初めて県下の支会長様とお会いしてみると、他の支会では現職員が退職するときに支会入会の勧誘を兼ねて先輩方がお声がけされ、在住地域の支会で活動されている姿があり

ました。私自身も、退職後は奈良支会ではなく在住市町村の支会に入会することをこの時初めて知りました。しかし、お世話になってきた奈良市の先輩や後輩の皆様への今後のつながりを考えると無責任に役割を終えることができず筆を執りました。

毎年変わる現職員の役員に奈良支会の運営を任せるのは、課題や目標の継続が困難で、退職された同窓会員の皆様との交流がしにくいのではないかと感じました。

奈良市在住の奈良教育大学卒業生の退職教員有志によって新たな奈良支会事務局が立ち上がることが理想ではないかと考えます。現行の現職教員による奈良支会の運営はすぐには終わることがありませんので、時間をかけてでも新しい体制ができることを期待して、奈良市在住の同窓生の皆様の交流を願う次第です。

### 山辺支会活動の再出発

山辺支会 今本 泰啓 (S39)

奈良教育大学同窓会山辺支会の発足については、私自身よくわかっておりません。聞くところでは、当地域では、「退職女教師の会」というのがあって奈良教育大学卒業生に限らず教員を退職した女性の方で会がもたれていたようです。当時はそのメンバーの殆どの方が旧師範学校、学芸大学出身の女性の方で構成されており、活動も活発になされていたと聞き及んでおります。しかし、諸々の事情によりその運営がうまく行かなくなり休会となっていったようです。このことからみて、当地域における奈教大同窓会山辺支会の基は退職女教師の会であったのだと思われ

ます。この度、本部の熱心な取り組み、要請、呼びかけに応えるべく組織の再編成に取り組んでまいりました。会員諸氏のご理解を得て何とか山辺支会の組織を立ち上げることができ、昨年6月24日(日)村内にある「ペンションはかた」にて第1回総会・懇親会を開催することができました。

会員32名中11名の出席を得ました。出席者全員揃ったところで記念写真を撮影。

総会は、上浦一道支会長の挨拶に始まり、何分初顔合わせなので自己紹介、今までの歩み(経緯)について今西町江様からお話があり、現奈教大同窓会(本部)の取組等について今本評議員が報告、今後の支会の取組として来年もこの形で開催継続していくことを確約し総会を終了。引き続き懇親会に移りました。

昔の懐かしい思い出深い話から現職の教師の生々しい教育現場の近況等で花が咲き和やかなひと時を過ごすことが出来ました。山辺支会が永く続いていくことと来年の再会を誓いあい閉会いたしました。



### 再会と新しい出会いと発見

大阪市興東会 船留 昌代 (S57)

平成30年11月29日(木)、大阪市西区の「徐園」で、第31回大阪市教職員奈良教育大学同窓会を開催しました。本会は、奈良教育大学を卒業し大阪市内の幼稚園・小学校・中学校・市教委等で勤務する教職員が1年に1度集う会として30年から会員の楽しみとなっています。特に、平成29年度の同窓会には、学長先生にもお越しいただき、校種を越え広い年代から100名以上の同窓生が集まり盛大なものとなりました。

今年度の第31回には、同窓会会長の森様や副会長の向出様を来賓としてお招きし、約70名以

上の参加者があり、歌や楽器演奏、ダンスのパフォーマンスで大いに盛り上がり笑顔溢れる集いとなりました。テーマは、「再会と新しい出会いと発見」。毎年の集いが繋がりととなり、新たな出会いを生み出す魅力ある同窓会となっています。



### 会報「まほろば」配送経費軽減のためご了承下さい

会報「まほろば」の送付にあたり、広告手数料による配送経費軽減の観点から三井住友トラストVISAゴールドカードのパンフレットを同封しておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。VISAゴールドカードの年会費は通常1万円ですが、同窓会との団体契約のため、年会費が2,500円となり格安です。(毎月送付される冊子は送られません。)会員の皆様の個人情報はこれまでと同じように保護されています。

## 同窓会だより

### S39卒同期は健在！

今本 泰啓

S39卒同期会を10月21日(日)ホテル・リガール春日野に於いて開催しました。今回は昨年に続いての開催です。昨年開催の折「喜寿を超えるこの年になってくると年々体調不良が主な理由で不参加者が増えてくることから、元気なうちに何回も顔を合わせておきたいから毎年の開催にしてほしい」との強い要望に応えての開催でした。

今回は、開学130年を迎えた懐かしい母校の見学会を取り入れ、当時を偲んでもらうと共にキャンパスの整備が進められ発展していく母校の姿を観てもらうことにしました。

10時30分キャンパス内山田ホール集合、部屋をお借りして、向出恵宥幹事からキャンパス内の概要等について説明を受けた後、マイクロバスでキャンパス内を見学、当時の建物はすっかり残っていないが、ここには美術科、こちらには理科、音楽、心理教室等々あったことを思い出し、当時を懐かしんでおりました。特に南東隅にあるクラブハウス前では降車して徒歩見学をし、汗して青春を大いに発散させた思い出深い場所だけに全員感慨深いものがあつたようでした。この老朽化したハウスの建て替えに同窓

会として精力的に取り組んでいることも話していただいた。

約30分の見学を終え、会場をホテル・リガール春日野に移し、旧交を深めることにしました。記念写真撮影後、物故者9名に対して黙祷を捧げ、幹事代表の挨拶、乾杯で宴会に入りました。テーブルごとの歓談の時間を出来るだけ多くとり盛り上がったところで各自のスピーチを聞くことにしました。様々な生き方、考え方、近況等々互いにこれからの生活に参考にさせてもらえることも多く、楽しく意義深いひと時となりました。最後に次期幹事をお願いしてお開きとしました。

散会時のみんなの笑顔が印象的でした。やっぱり「同窓会」っていいなあ…。幹事のひとりごと。



### 社会生活の基本を学んで！

内藤 眞 (S37)



昭和36年7月頃、マツダオート大阪の求人案内が大学構内の掲示板に張り出されているのを見つけました。そこで、大阪マツダ販売(株)の三住先輩(演劇研究会)に連絡をとり、会社案内を取り寄せ受験し、採用されました。(採用人数は営業職で大卒50名)当時本社は大阪市末吉橋にあり、私は湊町営業所にある特需部(官庁・大企業等法人を得意先とする営業部門)に配属されました。電話の応対に慣れていなかったため、ベルが鳴ってもなかなか受話器を取れません。万一取っても、用件が理解できずウロウロでした。

企業は、新人教育に熱心です。まず新人50人が集められ、会社の生い立ち、業務の内容、メーカーとの関係、得意先等、10日間程みっちり教育されます。その後配属された部門でも、新人教育が続きます。電話の取り方、話し方をはじめ、運転の仕方や、企業訪問での受付のアポの取り方、名刺の出し方、話題の選び方等、細かく教えられました。こうして企業は、主任・課長・次長・部長・取締役と昇進していきます。

その中で、私にとって重大な事が起こりました。企業分割です。販売会社が3つに分割されましたが、近畿電気工事(株)の担当であったことから大阪マツダを選びました。担当の会社は当時車の保有台数が4000台もあり、年間300台の販売を確保す

ることができました。

きんでんの本店・支店・営業所を訪問しながら、言葉づかいや服装など対応を変え、毎日どこかの場所を訪問することを、30年間続け、社長様から営業所の担当者まで懇意にいただきました。取り分け、私の人生の師匠ともいえる奥田五夫さん(和菓子店経営)にお会いできたことは、忘れられません。奥田さんは、車を購入される時に「内藤車に乗ってあげる」とも言ってくださいました。現在立派にお店を引き継がれた息子さんにも、ご利用いただいております。

取締役となって2年間過ごさせていただいたマツダオート奈良(現奈良マツダ)に、奈良教育大学の卒業生が入社し、特需本部長であった私のもとに新人として配属されたことがありました。私は、自分の若い時と同様に、電話の取り方、話し方、車の運転、企業の訪問の仕方等、私を知る限りの事は教えました。しかし、残念な事に1年が経つと、「和歌山で先生として就職できる」と言って退職しました。

先生は、社会的な教育はされないで教壇に立てられるのではないのでしょうか？

教室に入れば自分の天下、勿論教材研究等勉強もされると思いますが、企業が行うような新人教育はなされないのではないかと思います。在校生の皆様、先生になられるのなら、先輩の先生方によく教えていただいて一般的な常識を持った先生に、また一般企業に就職されるのなら、自分の感覚にあった企業に就職されることを熱望いたします。

## 百姓記『三重の塔』の巻

井上 三夫 (S23)

私は、ふるさとの斑鳩の里の田圃の畦(あぜ)に座って『法輪寺』と『法起寺』の双方の三重の塔を見上げている。

有り難いことだ。この齢(とし)になっても、こんな立派な塔を眺めながら百姓出来ることはと、いつも感謝している。

「ふるさとは遠きにありて思ふもの」と詩人『室生犀星(むろうさいせい)』が詠んだ。

「ふるさとは近きにありて遊ぶとこ」が私の心境。

「こんないい日にゃ、きっと君は田圃にいるだろうと、家にも寄らず直接、ここに来た」と、友人がやって来る。

「先生に会えるのは、ここだ」と教え子たちがやって来る。

草の座布団(しとね)に、山あり谷あり、塔の映る屏風が客を迎えてくれる。

子供のころ、

「あの塔を建てた人、だーれか知っているかーい」

「知っているわーい、誰でも知っているわーい、『聖徳太子』やろう」

「ちーがいましたー、違いました、大工さんだわーい」

私は田圃の畦に座って、『聖徳太子』は偉い人だったとつくづく思う。

『日出(い)づる處(ところ)の天子、書(しょ)を日没する處の王に致す、悲無(つつか)なきや』訳(やく)すれば、日の出る国(日本)の王から、日の沈む国の王に送る手紙なのである。

そこもとは達者かね。という内容だ。

聖徳太子が遣隋使(けんずいし)『小野妹子(おののいもこ)』に託した、独立自尊の外交文書なのである。当時、権勢を誇っていた中国の皇帝に対して、あくまでも対等以上の姿勢を示していたこの文書は、昔、小学校時代に習って、今も覚えている。

今ふうには、安倍首相が、中国の『習近平』へ大使を通じてこんな親書を送ったようなものだ。もちろん時代背景は違うが、今、これを手渡したらどうなるかと想像すると、にやーっとしたり、ぞおーっとしたり、、、

私は田圃の畦に座って、あの塔を建てた大工さんは偉い人だったと思う。

千何百年の風雪、あまたの地震に耐えて、今なお堂々と天空に向かって立っているではないか。耐震偽装設計とか不愉快なニュース記事を読むが、飛鳥時代の匠(たくみ)の素晴らしい技術に改めて称賛したいものである。

われらが郷土の人間国宝、昭和の名匠と呼ばれた宮大工『西岡常一』さんが薬師寺や法輪寺の堂塔の再建をなさっておられた時、私は学校の管理職の研修会のご講演をお願いに行った。

巨匠は削った板に設計図を描いておられた。

「ぼん、中学校の教頭はんになってはんのか。そんで儂(わし)に何んの話(わ)をせいというんや」

「お書きになった『人は人組み、木は木の癖組み(くせぐみ)』という『木の心』と題してお話をお願いします」と言え、

「ははーん、読んでくれましたんけ!」と、にこーっと笑って、

「ほな、しゃないな」と優しく引き受け、ご講演を願ったことがあった。

私は、中学校教頭から県の教育委員会の管理主事を命じられ、吉野郡の人事担当と相成った。

吉野といえば、地理的に奈良県の半分ほど占めている広範囲。就任した日の会議の冒頭、着任挨拶で、

「私の郷里の斑鳩の人間国宝と呼ばれている『西岡常一棟梁』は、

『寺の堂塔を建てるには材(さい)を買わず、まず山を買う。山の北側で採れた材木をもって、北側の柱となし、南側で採れた材木をもって南側の柱となせば、建立された堂塔は盤石』とおっしゃっている」

並み居る郡下町村の教育長、校長、教頭各位は耳目を傾注している。

「しかるに、私は奈良県の北部の教育界で生きてきた者。果たして大和南部のこの広範な吉野の教育界の支えとなって大任を請け合えるかどうか、脳裏で葛藤しながらやって来た。諸先輩、同士諸兄のご協力宜しく」と閉めた。出席の各位は固唾を呑んで聞き入って下された。

これが効いたのか、後々の大役はあらかじめ功を成したと自負している。

赴任早々の朝。吉野川の川べりを歩きながら、流れ行く水を見つめて、ふと、『西岡棟梁』の講演の一端を思い出し、全く予定しなかった挨拶が、諸先輩方の好感を得たのであった。

私は田圃の畦に座って三重の塔を眺めながら、いつも亡母(はは)の遺した『川柳』を口論(くちず)む。

§ 『斑鳩の三塔 鼎(かなえ)に並ぶ秋』

§ 『様(さま)変わる 村を古塔が語りかけ』

§ 『拝むより 観る寺となる里の塔』

§ 『駕籠(かご)で嫁(か)し 車で走る冥土(めいど)行き』

§ 『南無大師遍照金剛 白い旅』

こう詠んだ母者(はは)は、いまごろ何処(どこ)を旅(たび)なさっておられるやら。

## 第16回 一日親睦研修会のご案内

研修委員会では、本年度の研修を下記の通り計画しました。お誘いあわせの上、多数のご参加をお願いいたします。

期 日 令和元年11月2日(日)

会 費 7,000円(当日集金いたします。)

見学場所 ◎御食国若狭おばま食文化館

◎若狭フィッシャーマンズワープ

◎若狭三方縄文博物館

集合・出発 ▶近鉄大和八木駅(南口) 7:30

▶天理駅バス停 8:05

▶近鉄奈良駅噴水前 8:30

昼食場所 若狭フィッシャーマンズワープ「海幸苑」

奈良着予定 近鉄奈良駅(17:30)、天理駅(18:05)

大和八木駅(18:30)

申し込み・問い合わせ先

奈良教育大学同窓会事務局(〒630-8301 奈良市高畑町)。葉書に、住所・氏名・電話・卒業年次をご記入の上お申し込みください。

Tel 0742-21-6101・Fax 0742-21-6102でも受付可能です。月水金の10時～15時以外は留守電です。

締め切り 10月23日(木)

## 研修会だより

### 万葉集に思いをよせて

中村 倫子 (S52)

平成30年11月17日(土)、山田ホールにおいて、同窓会公開文化講演会が開催され、「万葉集を楽しもう～おとなになった皆様へ～」の演題で奈良県立万葉文化館館長 稲村和子様による講演が行われました。

講演会では、万葉文化館設立の趣旨や展示されている万葉集にちなんだ絵画の紹介、そして万葉集についてお話いただきました。万葉集を中心に、文学、考古学、歴史学等の研究を広め、後世まで大切に残していこうとする文化館の熱意を知ることができました。

講演を通して、万葉集に収録されている歌を改めてご説明いただき、その素朴さと自然とともに生きた人々の素直な感性がいきいきと詠われた歌だと感じました。これまで、私は古代にまで思いを馳せる機会はなかなかありませんでした。この講演会を通して、古代の人々の息遣いが伝わってくる万葉集の歌に、なぜか親しみを感じ、私のDNAの中に万葉の人々と繋がる感性があるので

はないかしらと思いました。現代を生きる私達にとって、遠い存在の奈良時代。しかし、脈々と私達日本人の中に静かに存在し、当時の歌にふれる中で、生き生きと詠んだ人の心が、紡がれた言葉を通して瑞々しい姿で立ち上がってくるのです。時代を超えて、今の私達と同じように喜び、悲しみ、悩みながら生きることは、今も昔も、何も変わらない。時代を超えて親しみを感じました。

万葉文化館では季節のさまざまな植物も育てており、当時の人々の歌の世界を、訪問者に感じてもらおう環境を整えておられます。万葉集では、自然は重要な要素であり、植物もその中の一つです。当時の人々が同じ種類の花や草木を眺め、歌にしたその営みを追体験できることも素晴らしいところですよ。

飛鳥の地に造られたこの文化館を実際に訪問し、万葉集の世界に浸ってみたいと講演会に参加した皆さんが感じられたのではないのでしょうか。

この講演会から4か月余り後に、万葉集から引用された「令和」が新元号に選ばれました。同窓会本部および研修部の皆様の時代を読む先見の明に敬服いたしますとともに、このような素敵な講演会を開催していただきましたことに心よりお礼申しあげます。

### 日本スポーツグランプリの受章に寄せて

北 良夫 (S30卒)

NHK大河ドラマ「韋駄天」に登場する嘉納治五郎が、明治44年(1911)に創設した日本体育協会の名称を、昨年4月「日本スポーツ協会」と改めました。100余年親しまれた名称の変更は、画期的なことですよ。私はこの新しい日本スポーツ協会が、元気な中高年者を顕彰する「日本スポーツグランプリ」を受賞する榮譽に浴しました。受賞は全国から選ばれた10人でした。

年が明けて今年2月、私は米寿を迎え、2重の喜びを100人を超える関係者が一堂に会して祝っていただきました。感謝、感謝ですよ。

この時期、なかなか手が付けられず放置してきた、80余年の人生の支えとなった、体育・スポーツについて「人生もトラックも快走」と名付けて、一冊の本にまとめました。書庫に積まれていた資料を取り出すと、歩んできた当時を思い出して編集が捗らず苦戦。短時間で完成させた拙著、どれだけの人が読んでくれて、どんな反応が聞かれるのかが楽しみです。

「50、60は鼻たれ小僧、70、80花盛り」と呼ばれる年も終わり、これからは人生100年に向かっての、助走が始まります。良い助走には健康が第一「朝めしうまい、昼良く動き、夜よく眠り、風邪ひかず、家庭円満」を日々心して励みます。



### 過重量の先にある達成感を追い求めて

大学院 加後 美咲

トライアスロンというスポーツをご存知でしょうか。水泳、自転車、ランニングの3種目を連続して行い、その合計タイムを競う競技ですよ。約30年前にアメリカで誕生した、まだ歴史の浅いスポーツですよ。2000年シドニーオリンピックからはオリンピック正式種目に採用されています。

私は、現在大学院で学びながらトライアスロン競技に取り組んでいます。昨シーズンは国民体育大会で6位入賞、日本選手権10位入賞、またユニバーシアード(世界学生選手権)日本代表として世界の舞台を経験するなどの成績を残すことができました。

トライアスロンは3種目をこなさなければいけないため、時間も体力も大きく消耗します。しかし、その分追求すればするほど大きな収穫を得ることができるという点がこの競技の魅力であると感じながら日々のトレーニングに励んでいます。また、トライアスロンは海や川を泳ぎ、風のなか、時には雨のなかを漕ぎ、走り抜けます。このように、自然のなかを全力疾走することも大きな魅力の一つですよ。

同窓会の先輩方が長きにわたり多方面でご活躍されているように、私自身もまだ歴史の浅いこの競技とともに、成長していけるよう精進してまいります。

先輩から後輩へ

後輩から先輩へ

# 学生会員からのたより

教職大学院 橋本 真奈

昨年、教職大学院に入学してから一年が経ちました。一年間を振り返って、教職大学院では多くのことを学ばせていただいております。

教職大学院での学びの中で、自分自身の実践力を高める授業や取組みが多くあります。特に、課題探究実習や課題解決実習、へき地学校実習では実際に子どもたちと関わり、また授業もさせていただく中で実践力はもちろん授業力も高めることができます。そのような実習を通して、私は子どもの実態にあった授業を考える難しさを学ぶことができました。

毎日毎日教材研究をしていく中で、目の前にいる子どもたちに「何をどのようにして教えないといけないのか」、「どのような力が身につくのか」というようなことを考えながら授業をつくりましたが、完璧だと思える授業はまだまだ難しいです。

小学校教員を目指す私にとって今後の課題ですし、またこのような考えや視点をもつことも大切にしていきたくと思います。

大学院生活も後半年です。充実した院生活を送れるよう日々精進していきます。



## キャンパスだより

### 入学生はどの府県から？ (H30年度)

(卒業高校所在地で調査)

1 奈良県	85名	7 和歌山県	5名
2 大阪府	78名	7 静岡県	5名
3 兵庫県	30名	9 岡山県	4名
4 京都府	11名	9 三重県	4名
5 徳島県	9名	9 愛媛県	4名
6 愛知県	6名		

### 卒業生の進路は？ (H30年3月卒業終了者)

\*資料：2018年大学概要

教員	幼稚園	7名	企業	56名
	小学校	73名	大学院等進学	30名
	中学校	25名	保育士等	7名
	高等学校	11名		
	特別支援学校	7名		
	期限付採用	79名		
	公務員	17名		



## 事務局だより

- ◎哲学者の梅原猛氏がお亡くなりになりました。著書は多くの日本人の心を掴んできました。先生は本学の奈良学芸大学で教壇に立ておられた時期があったのです。謹んでご冥福をお祈りいたします。
- ◎まほろば32号は、全会員に向けて発送いたします。住所変更等がありましたら事務局までご連絡下さい。
- ◎同窓会は皆様の会費で活動しています。会費の納入にご協力下さい。
- ◎事務局に直通電話を設置しています。TEL 0742-21-6101 FAX 0742-21-6102
- ◎個人情報の保護には、万全を期しています。

## 編集後記

- ◎令和元年度の同窓会総会が盛会裏に終了し、同窓会活動が本格的にスタートしました。
- ◎総会で議決承認された中の一つ、「同窓会創設130周年記念事業」の推進については、役員一同全力で取り組みを始めています。事業を成功に導くために、同窓生諸氏の絶大なるご支援・ご協力をよろしくお願い致します。
- ◎会報「まほろば」第32号をお届けする運びとなりました。今回も、貴重なご寄稿をいただき感謝します。
- ◎この会報が愛されより充実し、同窓会活動活性化の一助になることを願っています。

## 原稿募集

- 会報33号の原稿を募集します。
- 500字程度で、顔写真等もお願いします。
- 送付先：同窓会事務局広報委員会 宛



奈良教育大学同窓会会報「まほろば」第32号 発行：令和元年6月30日

発行所 奈良教育大学同窓会事務局 〒630-8301 奈良市高畑町 奈良教育大学内  
☎0742-21-6101 Fax0742-21-6102 郵便振替番号00900-2-9400

編集・発行 奈良教育大学同窓会

印刷所 関西印刷株式会社 奈良市南半田中町19・20番地

-題字 故 川淵勝男元会長-